

二日間とも快晴の空の下、時間の余裕が気分の余裕となる、忘年山行にふさわしい山旅でありました。

前橋駅前前で頼んであったタクシーに乗り込み赤城山の大沼を目指します。途中、赤城神社で停めてもらい、1年間の無事を感謝してお参りし、心新たに登山口の五輪峠に着いて歩き始めたのでした。

この足柄山・陣笠山・薬師岳・出張山のコースは昨年の忘年山行で歩いていたので、気楽に歩くことができました。

ほぼ全コースに雪が残っており、陽はさしていても融けもせず、山靴の下でサクサクと懐かしく良い音をたてているので、その音も楽しみながら歩いてきました。



五輪峠に着いた。去年と同じ小さい道標が立木に括り付けられている。



身支度を整え終えて、出発前に。



足柄山への道。身支度を整え直しているうちに、みんな先に行ってしまった。



足柄山に着くと、昼食が始まっていた。目の前を1枚だけ。木々の向こうは地蔵岳だ。



昼食を終えて出発。またしんがりになってしまった。のんびり行こう。



今回の山の最高峰、1528m 薬師岳に着いた。LMC の旗を取り出して記念写真を撮る準備中。



薬師岳山頂で記念写真



薬師岳を下ると野坂峠がある。左に大沼に下る道、右に沼田への道が別れている。ここは中央に見える道を進み、出張山に向かう。



傾斜がなだらかな場所が多いコースで、全般的に歩き易い。右写真は出張山の山頂。



出張山頂直下に10mばかりロープを伝って下る箇所があったが、直ぐに歩きやすい道になって、出張峠に着く。

冬至の数日前のこと。午後2時なのに陰が長く伸びている。



出張峠からは、出張山の裾の等高線をたどるよう行く道歩く。関東ふれあいの道の表示板のところで、自動車道路にぶつかる。というより、ここが関東ふれあいの道の入口なのか。



沼尻到着。大沼の水が沼尾川となって流れ出る場所。渋川市で利根川に合流するのだそうだ。



大沼畔の車の通る道に行く。今夜の宿、青木旅館が見えてくる。



宿帳を書き終えて、食堂でお茶をいただいているところへ樋口隊長が到着された。その後、3室に分かれて部屋に入り風呂場へ。



宿の女将さんが心得て、広いテーブルが置ける部屋を用意してくれてあった。風呂上りに全員が集まって LMC の旗を掲げ、樋口隊長の開会の言葉で納会がはじまった。



夕食の時間になり、食堂に移動。テーブルを一つにしてもらいたいとお願ひしたが、料理が多くて載り切らないから、と言われ二つに分かれて忘年会の宴が始まった。約2時間の歓談。料理、酒を楽しみ、幹事室に戻ってもう一杯で夜が更けていく。(つづく)

二日目の朝。今日も晴れています。窓を開けて外を見ると、少しの雪が降ったのかそれともたくさんの霜が降りたのか、屋根がうっすら白くなっていました。

宿のすぐ前のスキー場の脇を登って、見晴山へ。下って大沼東南畔の青木別館までのコース。青木別館には、納会打ち上げの昼食会をお願いしてあります。



出発準備完了。勢ぞろい。と言いたいのだが、準備が遅れた二名が写っていない。



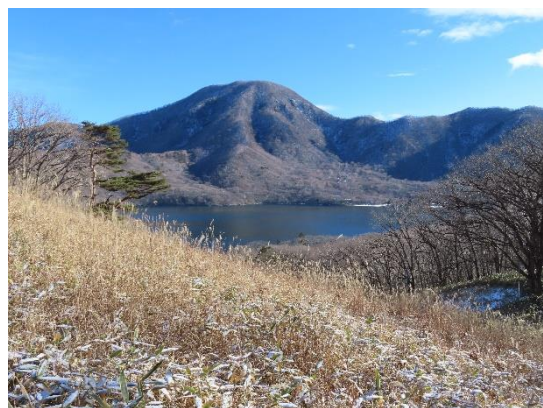
旅館の目の前のスキー場の脇を登る。グレンデは枯れたすすきなどが見えていて、スキーで滑るのはまだ無理だ。コースは短くて狭いけれども、なだらかで小さい子供達にとっては、楽しめる場所だろう。



スキー場の上方から。左手、緑の屋根が青木旅館。大沼の上は昨日歩いた山々だ。右の梢の向こうは黒檜山。その左に足柄山、陣笠山、少しおいて左の高いところが薬師岳（たぶんそうだと思う）。



スキー場が尽きて尾根に近づいた。林の下、クマザサの中のゆるい道に行く。



振り向けばこの景色が。



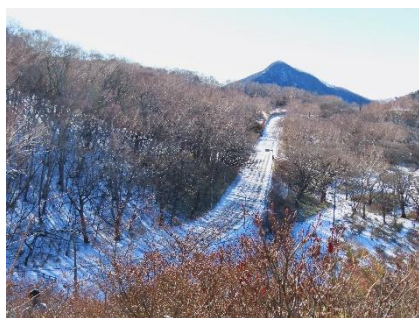
クマザサの中に分け入って写した。



見晴山。平地が広がっていて、ゆっくり休憩したい場所だ。



見晴山での小休止を終えて歩き出す。木の柵は白樺牧場のもの。



見晴山を下りる途中、展望台があった。見下ろせば、「上毛三山パノラマ街道」と名付けられた県道4号線は、すっかり凍てついている。



タイヤに踏まれ固く締まった道路に、アイゼンの爪を効かせながら歩く。サクサク、キュウキュウ、心地よい音がする。車は時折折るだけ。

右の写真は、青木別館食堂での LMC 忘年山行打ち上げの昼食会の情景です。



目の前の大沼で獲れたワカサギのフライの定食と、ビールと酒とを味わったのち、山川先輩にめていただき、今年の LMC 忘年山行が無事にお開きとなりました。

参加者は、左から山川明男(S33E)、樋口 昭(S29E)、成田 修(S44M)、阪西 保(S36E)、梶山 實(S36E)、勝沼正敬(S36E)、星 富夫(S36E)、川村吾一(S36E)の皆さん。



(おまけ) 遠い対岸に赤城神社が見える。手前の白いオブジェは、枯草に飛沫が凍り付いたもの。

二日間の LMC 忘年山行が無事に終わりました。ご参加の皆さん、ご協力ありがとうございました。新しい会員の入会を期待しつつ、新年山行でお会いできますこと、願っております。

(おわり 勝沼)